

## 窓

福島県教育センター

「窓」に寄せる思い

「教育に寄せる心を開く小さな「窓」」  
小さな「窓」から広がる教育の世界が見えてきます。

## 復興を担う人材の育成

研究・研修部長 大和田 範雄

平成21年度より小中学校において一部先行実施された新学習指導要領も、本年度の高等専門学校をもって全ての校種でスタートされました。今回の改訂においては、平成14年度から実施された前学習指導要領の理念であった「生きる力」の育成が継承されており、学校・家庭・地域の連携・協力によって、確かな学力〔知〕、豊かな人間性〔徳〕、健康・体力〔体〕のバランスのとれた力をより一層はぐくむことをめざしております。各学校においては、新学習指導要領の理念の下、特色ある教育活動の展開に向けて、児童生徒や地域の実態に即し、創意工夫を生かした教育課程が編成されたことと思います。

この間、大震災と原子力発電所事故という未曾有の大災害に見舞われ、新学習指導要領への移行にも困難をきたしたことと思われまます。特に本県においては、今後も厳しい状況の継続が予想される中、復興・再生を着実に推進していくために『ふくしま新生プラン』が策定されました。プランでは、グローバル化の進展により社会が必要とする人物像は変化しており、「生き抜く力」の重要性に言及しています。また、県教育委員会においては、平成25年度に重視する観点として、「ふくしまの復興・再生に向けた、生き抜く力をはぐくむ教育の推進」を基本目標と定め、具体的な取組として、道徳教育や教育相談体制の推進、学力や体力の向上の推進等を掲げました。

大震災からまもなく3ヶ年が経過しようとしていますが、未だ多くの方が長年住み慣れた土地を離れた避難生活を余儀なくされており、学校も他地区やサテライトによる再開等厳しい状況におかれてい

ます。また、学校が再開されても教材や教具などは、恵まれた状況にまでは回復されていません。さらに、これまで誰も経験したことのない放射線不安への対応に苦慮しながらの教育活動であり、児童生徒も不自由な教育環境の中での学習に戸惑いや不安を感じています。しかし、児童生徒にとって、最も身近で、最も重要な教育環境は教員であると思います。困難な状況の中にあっても、創意工夫をこらしながら分かり易く授業を行ってくれる先生。個々の児童生徒の状況に配慮しながら親身に相談に応じてくれる先生。体力向上や肥満防止のために一緒に楽しく体を動かしてくれる先生。児童生徒にとって最良の教育環境は、先生方が日々実践されている教育活動によって提供されます。児童生徒に最良の教育環境を提供するために、教育公務員として教員生活を継続する限り研修し続けなければなりません。児童生徒は教員の学び続ける姿勢に接することにより、生涯にわたって学び続けることの重要性を認識することができるはずでます。まさにそれが「生き抜く力」の基盤となるはずでます。

平成25年3月、県教育委員会が発刊した『ふくしま道徳教育資料集第I集「生きぬく・いのち」』の表紙には、朝倉悠三画伯による相馬野馬追が描かれています。強く大地を踏みきろうと力を蓄え屈曲した後ろ脚。より前方の大地を掴もうと伸張した前脚。そして向かい風を避けようと前傾しながら馬を御する少年騎馬武者。人馬一体となり、より早く、より遠くまで駆け抜こうとするその姿には、画伯が本県児童生徒に託す希望とエールが描かれています。

本誌に関するご意見・ご感想、並びに研修に関するご質問等がございましたら、下記連絡先までお寄せください。

編集発行 : 福島県教育センター 〒960-0101  
TEL 024-553-3141 (代表)  
URL <http://www.center.fks.ed.jp/>

福島市瀬上町字五月田16番地  
FAX 024-554-1588  
E-mail [center-kikaku@center.fks.ed.jp](mailto:center-kikaku@center.fks.ed.jp)

## ソーシャルネットワーク時代の「情報モラル」について

ソーシャルネットワークとは、ソーシャルネットワーキングサービス（以下、SNS）の略であり、インターネット（以下、ネット）上でコミュニティを形成し、ユーザー同士が様々な形でコミュニケーションを取ることができる会員制サービスのことです。具体的には、「mixi」「GREE」「Facebook」「LINE」などがあります。

SNS の利用は、大人にはもちろん、子どもたちにも広まっており、それに伴い、県内各学校でネットトラブルが起きているようです。平成 25 年度は、教育センターが行っている「情報モラル」に関する出前講座の依頼が増えており、児童生徒対象、教職員対象、保護者対象合わせて 25 件実施しました。

出前講座では、これからの高度情報化社会を生きていくために、ネットの「光と影」を知った上で、上手に利用することが大切であることを伝えていきます。その講座の内容の一部を紹介します。

### 《 基礎知識 》

身の回りには、ネットにつながる機器がたくさんあります。子どもたちを有害情報から守り、事件・事故に巻き込まれないようにするために、講座では、次のことを伝えていきます。

#### (1) ケータイとスマートフォンの違いについて知っていますか？

##### 【ケータイ】

元々、電話機能のみの携帯電話機にメールなどの機能を付加したもの。

##### 【スマートフォン】

ミニパソコンのようなもの。OS で動いており、使いたい機能は「アプリ」を起動させて使用する。

#### (2) スマートフォンを使う時に気をつけること！

- ・パスワードを設定しましょう（盗難や紛失の際に、スマートフォン内の情報を守るため）
- ・OS を最新の状態にアップデートしましょう（ウイルス感染等の危険性を低くするため）
- ・フィルタリングを導入しましょう（有害情報等から自分自身を守るため）
- ・ウイルス対策ソフトを導入しましょう（ウイルス感染等の危険性を低くするため）

##### 【フィルタリングについて】

スマートフォンがネットにつながる仕組みとして

- ①携帯電話会社の回線での接続
- ②無線 LAN での接続

の 2 種類があります。

①のフィルタリングは、各携帯電話会社が提供するフィルタリングサービスに加入することでアクセス制限が可能です。

②のフィルタリングは、携帯電話会社のフィルタリングサービスだけでは万全ではありません。無線 LAN を使わない設定をするか、フィルタリングソフトを導入しましょう。

※ 設定の方法は機種により異なるため、各携帯電話会社に相談しましょう！

##### 【ウイルス対策ソフトについて】

アプリのインストール時やネット利用時にウイルスが入ってしまうことがあります。ウイルスの中には、個人情報や盗み出すものやデータを壊してしまうものなどがあります。

そのようなウイルスから守るため、ウイルス対策ソフトを導入し、必ずアップデートをして最新の状態にしておきましょう。



#### (3) ネットに関することについて、どれくらい知っていますか？

- ・携帯ゲーム機や携帯音楽プレーヤーからもインターネットに接続でき、どのようなことができるか知っていますか。（→パソコンやスマートフォンと変わらない使用ができます。）
- ・携帯ゲーム機でのすれ違い通信とは、どのようなことか知っていますか。（→ゲーム機同士が無線通信によって自動で探知し、ゲームに関連するデータを自動的に送受信する機能のこと。）
- ・無料ゲームサイトで、ゲーム以外に何ができるか知っていますか。（→ブログを書く、メッセージのやり取りができるなど、使用するサイトによって様々なサービスが準備されています。）
- ・無料ゲームサイトやコミュニケーションアプリを使用することで、子どもたちの間にどのようなトラブルが起きているか知っていますか。（→人間関係や心身に関する事など、様々なトラブルが起きています。）

## 《ネットの光と影》

ネット上では、匿名だと思っていたらそうではなかったことや、犯罪と知らずにやってしまいそうなこと、心身に支障をきたしていることなどについて、事例を交えて講座では伝えています。

### (1) いつの間にか個人情報をネットに流しています！

名前や住所、生年月日など、個人情報を書かなくても、いつの間にか個人を特定できる情報をネットに載せてしまっています。

(例1) GPS機能付きのカメラで写真を撮ると、Exif情報が付加されます。



Exifには、撮影時の条件や日時、カメラの機種等の情報が付いています。もちろん、場所も特定することができます！

(例2) ネット上の情報を組み合わせると、個人特定されてしまいます。

- ・ある日の書き込みで  
「今朝、学校に行く時太陽がまぶしかった」と書いた
- ・他の日の書き込みで  
「学校まで〇分かかるから疲れた」と書いた
- ・大会に行った時  
「ジャージ姿（学校名が見える状態）で撮った画像」を載せた

これらの情報を組み合わせると個人が絞り込まれていきます！

(例3) ゲーム機によるトラブルが増えています。

- ・友だちのIDやパスワードを使ってネットゲームをしてしまった
- ・無料だと思っていたゲームだったのに、いつの間にかお金がかかってしまった
- ・保護者のクレジットカードを勝手に使って、アイテムなどの買い物をしてしまった

知らないうちに、法律違反になる行動をしています！  
善悪の判断が付かず、歯止めが利かなくなっています！

### (2) ネットにハマり、抜け出せない中学生・高校生がたくさんいます！

携帯電話やスマートフォンなど、ネットにつながる機器を手元から離せなくなっています。ゲームにハマる、友だちとのやり取りにハマるなど理由は様々ですが、体調管理や勉強に支障が出てしまう問題があります。

## 《 対 策 》

「青少年インターネット環境整備法」により、18歳未満の子どもに携帯電話やスマートフォンを購入する場合には、「フィルタリング」を利用することを義務付けています。また、子どもの成長に合わせて機能を制限するなどの「ペアレンタルコントロール」も必要です。携帯ゲーム機や携帯音楽プレーヤー、テレビなど、ネットに接続できる機器にも同じ対策が必要です。

しかし、ネットトラブルの予防や解決のためには、上記の保護者の対策だけではなく、学校の関わりが必要不可欠です。「家庭でのルールづくり」は重要なことですが、家庭まかせではルールはバラバラになってしまいます。

そこで、SNSの利用を含めた「ネット利用のガイドライン」や「生活の心得」として学校でルールをつくるのはいかがでしょうか。教員からの一方的な押し付けではなく、児童会や生徒会を中心とした子どもたちの提案を取り上げ、学校の方針としてまとめることも、効果を上げる方策だと思います。

早速取り組んでみませんか？

### 【ルールづくりのポイント】

- ・時間：使いすぎないためのルール
- ・お金：料金が高くなりすぎないためのルール
- ・コミュニケーション：友だちとのやり取りをネットに依存しすぎないためのルール

□■教育相談チームからの発信■□

児童生徒を支援する力を高める  
校内研修実践資料

～便利で安心、明日からできる校内研修～



A中学校  
研修主任  
あっこ先生

実はね、保護者の方と  
もっといい関係が作れる  
ように電話対応の研修を  
したのよ。

あっこ先生の学校っ  
て、先生方の電話対応  
がいつもいい感じよね。  
何か特別なことをみん  
なでやってるの？



B中学校  
養護教諭  
けいこ先生

それって、外部講師を  
呼んでやったんでしょ？



いいえ、私が進行した  
のよ。外部講師を呼ばな  
くても自分たちでできる  
いい資料があるのよ。

それってどんな資料  
なの？



教育センター教育相談  
チームが開発した資料な  
のよ。

どんな研修だったか  
詳しく教えて。



◆校内研修実践資料（中学校版）  
「保護者からの電話対応」を使用したA中学校の研修

はじめに

◇ウォーミングアップ

説明 「保護者からの電話対応の基礎基本」の理解

◇電話対応の基礎基本

- 電話をかけてくる保護者の気持ちの理解
- 傾聴と協力関係を結ぶことの大切さの理解
- 電話対応の流れの確認

演習 「保護者との協力関係の結び方」の体験的理解

◇演習

研修者は3人組になり、  
保護者役・担任役・観察者  
の立場で、①「子どものこ  
とで心配なことがあり電  
話をかけてくる保護者」②  
「学校の対応に質問の電話をかけてくる保護  
者」の事例を基に電話対応の演習を行った。



◇振り返り



保護者役・担任役・観  
察者はそれぞれの立場か  
ら気づいたことを話し合  
った。その後、話し合った  
ことを全体で共有した。

まとめ

◇研修全体の振り返り

なるほど。研修された先生  
方の反応はどうだったの？



実際によく  
ある事例だっ  
たので、真剣  
に取り組むこ  
とができたわ。



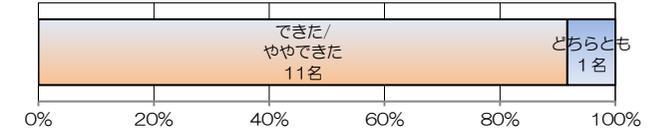
A中学校  
研修を受けた先生方

他の先生方  
の電話対応を  
聞くことがで  
きて参考にな  
ったわ。

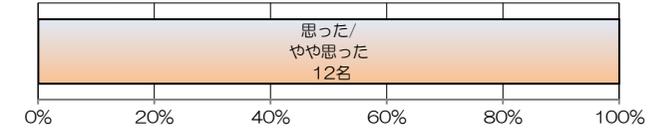


研修後の先生方(12名)のア  
ンケート結果よ。

① 校内研修の内容は理解できましたか？



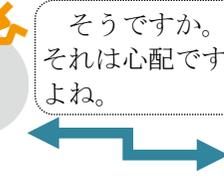
② 校内研修で学んだことを今後に生かしたいと思いましたか？



研修後のA中学校の職員室



A中学校  
保護者



A中学校  
担任  
こはる先生

そうですか。  
それは心配です  
よね。

一緒に〇〇して  
いきませんか。



うちの学校でもやってみようかな。  
ところで、他の資料もあるの？



ええ。他にもたくさん資料があるのよ。

◆校内研修実践資料一覧

小学校資料① 自己への気づきを基にした児童生徒理解の方法

自分が子どもをとらえるときのパターンを理解し、子どもにどのように関わればよいかを学びます。

小学校資料② 教師自身の望ましい自己表現

教師としての望ましい人間関係を結ぶため、自分も相手も大切に自己表現の方法を学びます。

中学校資料③ 児童生徒の発達をつなぐ発達課題、校種間連携の理解

一人の子どもの発達は連続するものであるという視点から、継続的に支援することの必要性を確認します。

中学校資料⑥ 自己への気づきを基にした生徒理解

自分が子どもをとらえるときの眼（枠）を理解し、子どもにどのように関わるかを学びます。

小学校資料⑥ 問題行動への対応（実際の事例に基づいた事例研究）

問題行動への対応力を高めるため、事例研究を通してみんなで指導援助策を考えます。

※資料の番号はWebサイトに掲載されている順番を表しています。

小学校資料④ 学級の人間関係づくり①(構成的グループエンカウンター)

楽しいグループワークを取り入れながら学級の人間関係づくりを進める手法を学びます。

小学校資料⑤ 学級の人間関係づくり②(ISTとアサーショントレーニング)

ロールプレイを取り入れながら児童の社会性を育てる方法を学びます。

中学校資料① 学級の人間関係づくり(構成的グループエンカウンター)

楽しいグループワークを取り入れながら学級の人間関係づくりを進める手法を学びます。

事例研究

児童生徒理解

校内研修実践資料集

学級づくり  
人間関係づくり

保護者対応

Q-U

小学校資料③ 保護者との相談面接

保護者との協力関係を結ぶための相談面接の仕方を学びます。

小学校資料⑦ 学級・学年懇談会で生かす構成的グループエンカウンター

学級・学年懇談会で教員（担任）と保護者及び保護者同士の関係づくりを進める手法を学びます。

中学校資料② 保護者からの電話対応

保護者と協力関係を結ぶための電話対応の仕方を学びます。

中学校資料④ Q-Uを活用した学級集団づくり(アセスメントとその対応)

個別理解と学級集団理解を深めるため、Q-Uの結果からみんなで課題と指導援助策を考えます。

中学校資料⑤ Q-Uの結果を生かした学級集団づくり(アサーショントレーニングと構成的グループエンカウンター)

Q-Uの結果を生かしながら、学級集団におけるルールとリレーションを作るための手法を学びます。

資料は実施したい校内研修のテーマに応じて選ぶことができます。

◆校内研修実践資料は「便利」

参考資料  
演習資料  
演習進行案  
テキスト資料  
プレゼン資料(データ)  
実施進行案

資料一式がすぐにダウンロードできます。進行の原案がついているので、それを基に進めることができます。

教育相談チーム  
ジュンイチ先生

高等学校、特別支援学校でも小学校・中学校資料を使っています。どの資料も校種に関わらず使うことができます。

◆校内研修実践資料は「安心」

研修後の効果は実証済みです。  
太鼓判

FAX質問用紙

内容や使用法の質問・疑問等はFAX質問用紙を使って解決できます。

『校内研修』にぜひご活用ください。  
福島県教育センター  
教育相談チーム  
TEL 024-553-3141  
平成26年度は高等学校資料を開発する予定です。

校内研修実践資料及びFAX質問用紙は、福島県教育センターWebサイト内「生徒指導・教育相談」からダウンロードできます。携帯でもご覧いただけます。



# 長期研究員の研究内容の紹介

現在教育センターには、長期研究員が15名おり、小・中学校の10名は2年間、高等学校の5名は1年間の研究に励んでいます。それぞれの研究員の研究主題、副主題、研究のポイントをご紹介します。

## 【小学校国語科】

(宍戸 和博)

文学的文章の確かな読みの力に培う  
複数教材活用による授業の在り方  
—学習者の「読みの方略」概念を視点とした授業づくりを通して—

- 「読み方」を「読みの方略」として機能させること
- 方略を機能させるための、複数教材の関連のさせ方の工夫



## 【小学校国語科】

(車田 敦子)

自分の考えを持ち、  
表現する力を育てる「読むこと」の授業  
—言語活動を核とした単元構想の工夫を通して—

- 「物語のとびら」「おはなしタイムカプセル」などの言語活動の工夫
- 考えを書いて交流し、また書くという活動のサイクルの充実

## 【小学校算数科】

(木戸美智子)

割合や比例の学習における  
関数の考えの育成  
—問題文・図・式を関連付けた系統的な倍概念の指導を通して—

- 倍概念の指導システムを重視した単元設定の工夫
- 問題文・図・式を関連付ける算数的活動の工夫
- 関数の考えを活用するための作問活動の工夫

## 【小学校理科】

(笹島 明美)

科学的な見方や考え方を養う  
「問題解決のプロセス」を大切にした授業づくり  
—学習集団内での考えの共有化を図る「観察、実験」前後の話合い活動を通して—

- 問題解決型授業のプロセスの見直し
- 「観察、実験」前後の話合い活動の工夫



## 【小学校特別活動】

(佐藤 和仁)

よりよい学級の生活づくりに向けて、互いに尊重し、よさを認め合う子どもを育成するためにはどうあればよいか  
—学級活動と日常指導の関連を図った指導と評価の一体化をめざして—

- 指導と評価の一体化をめざすマネジメントサイクルの設定
- 学級活動(1)・(2)や日常指導との関連を図った指導

## 【中学校国語科】

(荒川 真彦)

自他との関わりにより  
新しい考えを創出する伝え合い学習の工夫  
—教室ワールド・カフェによる対話を通して—

- 「教室ワールド・カフェ」による対話
- 知的好奇心を刺激する発問の提示と考えの可視化



## 【中学校社会科】

(樋上 聖)

公民的分野における  
社会的事象の見方や考え方を深める指導の工夫  
—「効率」「公正」を中心とした多面的・多角的な視点から—

- 社会的事象を身近に感じさせる学習課題の工夫
- 「効率」「公正」の視点を持たせる場の設定
- 考えを適切に表現させる工夫

## 【中学校数学科】

(小澤 誠)

関数的な見方や考え方をはぐくむ  
数学的活動の充実  
—見だし、読み取る活動を通して—

- 学び直しの適切な位置付け
- 身の回りの事象から関数関係を見いだす活動の工夫
- 読み取る活動を生かした数学的活動の工夫

## 【中学校情報教育】

(北見 清)

最新事例から見る情報モラル指導の研究  
 -インターネットの危険性を  
 身近に感じられる授業づくりを通して-

- トラブル事例や体験型教材を用いた授業
- 生徒の判断力・責任感・自制心を含む情報活用能力の向上

## 【中学校教育相談】

(遠藤 寛之)

児童生徒を支援する力を高める  
 「校内研修実践資料」の作成  
 -校種間の接続期における児童生徒の不応問題の解決をめざして-

- 校種間の接続期における不応問題の解決
- 校種間で連携する意識を高める「校内研修実践資料」の作成と、校種混合型合同研修会の実施

## 【高等学校国語科】

(梅野 克也)

古典を読む能力と意欲を互いに高め合う授業  
 -「思考の引き出し」を増やして活用する  
 「ジグソー学習」を軸として-

- 「ジグソー学習」を軸とした学習過程の工夫
- 指導内容を精選して学習目標を生徒に提示し、学習過程を明確にする工夫

## 【高等学校数学科】

(中島 正義)

統計的リテラシーの育成をめざした  
 数学Ⅰ「データの分析」の指導法の研究  
 -ICTの効果的な活用と数学的活動を重視した授業展開を通して-

- ICTの効果的な活用
- 数学的活動の充実



## 【高等学校英語科】

(星 由紀子)

英語での表現活動を通して  
 学習意欲を高める指導法の研究  
 -ストーリー・リテリングにおける学習方略使用の有効性について-

- ストーリー・リテリングによる表現活動の充実
- 学習方略を取り入れた授業展開の工夫

## 【高等学校教育相談】

(永瀬 雄次)

高等学校における生徒指導・教育相談に関する  
 校内研修活性化についての研究  
 -校内研修におけるスクールカウンセラーの活用-

- 学校の現状とスクールカウンセラーの特長に応じた活用の工夫
- スクールカウンセラーの有効な活用モデルの提言

## 【高等学校情報教育】

(齋藤 亮)

LMSを活用した  
 学習習慣の確立をめざした取組  
 -知識の習得に特化した教材による繰り返し学習を通して-

- どこでも活用できるLMSの構築
- 教材を生徒に活用させる工夫



明日の  
 福島の  
 教育をつくる

Fukushima Prefectural Education Center

※ 各研究の詳細については『平成25年度研究紀要 第43集』『平成25年度長期研究員個人研究報告書(高校籍)』をご覧ください。また、「福島県教育研究発表会」(平成26年11月27日開催予定)でも発表を行う予定ですので、ぜひご参加ください。

## 平成25年度 福島県教育研究発表会

「先進的な研究に触れ、明日へのヒントを得よう！」をスローガンに、福島県教育研究発表会が11月28日（木）に当センターにおいて行われました。学習指導、教科指導、教育相談、情報教育に加え、本県が重点目標とする地域復興や体力向上をめざす取組など、ふくしまの未来を担う子どもたちの育成につながる多様な発表が繰り広げられました。また、秋田県教育センター名誉所長



小野寺 清 氏による講演『学力向上に奇策なし～「変わらない」から「変わる」への挑戦～』が行われ、秋田県の取組や教育先進県に至る経緯についてお話いただきました。具体的で示唆に富むお話は、将来を見据えた教育の在り方を考え、実践していく上で、大変参考になりかつ刺激となるものでした。

おかげさまで、本年度は昨年を超える約250名の参加をいただき、教育研究発表会を無事終了することができました。来年度も実り多き研究発表会となるよう準備を進めております。ぜひ、御参加くださいませようご案内申し上げます。

- 各発表の概要・要旨を当センターWebサイトに掲載しております。ぜひ、ご覧ください。
- 来年度の予定は次のとおりです。

日時：平成26年11月27日（木） 9時50分～ （会場：福島県教育センター）  
内容：各種研究発表及び講演

## ～実践に役立つ教育資料のご紹介～

「図書資料室」蔵書の中から、おすすめの教育資料をご紹介します。



### 「思考・判断・表現」の評価のあり方Ⅰ

（公益財団法人日本教材文化研究財団 平成23年度 研究紀要No.41 2012. 3）



### 「思考・判断・表現」の評価のあり方Ⅱ

（公益財団法人日本教材文化研究財団 平成24年度 研究紀要No.42 2013. 3）

各教科（Ⅰ：国語科、算数・数学科、社会科／Ⅱ：理科、英語科）の「思考・判断・表現」の評価について、理論と実践例を示しています。国語科におけるパフォーマンス評価や、算数科での言語活動の充実とその評価、全国学力・学習状況調査（国語・算数）から見える社会科学力、また、理科における言語活動の充実と評価マトリクスの活用、英語科における「要約」とその評価など、教科の特性に応じた評価の考え方や方法があげられています。



### 学校カアツとカリキュラム・マネジメント

（一般財団法人学校教育研究所 2013. 3）

各教科の指導を充実させる視点や教師の指導力を向上させる視点など様々な角度からカリキュラム・マネジメントの方法を示し、さらに、各教科としてカリキュラム・マネジメントをどう充実するかについてのヒントが示されています。



### 教師と児童・生徒のデジタル教科書に関する調査－小学校・中学校を対象に－

（公益財団法人中央教育研究所 研究報告No.79 2013. 5）

全国2,500校の小・中学校教員等にアンケートを行った結果を基に、教師と児童・生徒のデジタル教科書に対する認識や今後の課題などについてまとめています。教師と児童生徒の意識の違いなど、興味深い調査結果が紹介されています。

BOOK

- 「教育資料」「教育図書」の検索用データベース（Excel形式）については、当教育センターのWebサイトからダウンロードできます。
- 貸し出しは5冊まで、期限は2週間となっています。
- 詳しくは「調査研究チーム」までお問い合わせください。Tel024-553-3141（内線37）

SEARCH 福島県教育センター 教育図書検索

GO